

清水フードセンターの3Rに関する取組

清水商事株式会社 小売業

●取組みの目的

私共、清水フードセンターでは環境負荷低減と限りある資源の活用を目的に、廃棄物の3Rを社内はもとより、地域のお客様と協働で推進しています。



店頭の回収ボックス

通箱でのばら販売

●取組みの成果

社内でのリサイクル対象物は多義にわたりますがリサイクルの取組自体が地域のお客様との協働であることから、社員一人ひとりが資源を大切に使うことやリサイクル活動に対し高い意識を持つようになりました。

●取組みの概要・ポイント

○資源のリサイクル・店頭回収

お客様と一体となって店頭回収を進めている、牛乳パック・アルミ缶・トレーは回収後、各々専門のメーカーさんに引き渡され溶解を経て新たな製品に生まれ変わります。ペットボトルキャップは、NPO法人を通じワクチンとなって寄付されます。

○自社の3R取組

1、包装資材の削減

売場で使われる、ラップやトレーなどの包装資材は食品衛生上、非常に重要なものですが私共清水フードセンターでは生鮮食品のばら売りや包装の簡略化をすすめ、トレーの強度を保つことを優先しながらも軽量な物を使用する事で減量に努めています。

2、配送時の通箱使用

段ボールや発泡スチロール等の配送容器の減量のため、リターナブルなコンテナやバットを使用します。また輸送時の荷崩れ・商品の温度上昇を防ぐためにシェッパード付のオリコンに格納しています。

3、廃油や魚のあらのリサイクル

お店で使用する揚げ物をつくるための食用油は使い終わった後、回収し、専門メーカーで燃料に再生されます。また、魚のあらも専門業者の方に回収してもらい、肥料・飼料にリサイクルされます。

4、その他のリサイクル

蛍光管・発泡スチロール・ビン・段ボールやOA紙等の紙製品。